

尾鷲市共に創り 未来につなぐ 誇れるまち おわせ



「人と道 ここでここにここから」
生き続ける道の文化を伝えたい

①三重県立熊野古道センター TEL 0597-25-2666
熊野古道センターは、国内はもちろん世界に向けた情報の発信基地であり、熊野という広域の自然・歴史・文化をくまなく取り入れた展示物と、多様なイベントを企画して、東紀州といわれる地域の中心的な役割を果たしています。多言語音声案内システム及び英語併記の誘導サインが整備されています。



⑤天満莊 TEL 0597-22-7880
築90年になる天満莊。カフェコーナーでは天満浦で採れたあまなつのジュース、ケーキなど。海を見ながらリラックスして過ごせます。



中京・関西圏では唯一の海洋深層水供給基地
⑥みえ尾鷲海洋深層水アクアステーション

TEL 0597-27-8080
海洋深層水の取水方法などが学べる交流拠点施設。太陽に光が届かない水深 415mから汲み上げる清浄で栄養豊富な海洋深層水の取水・分水を行っています。



春には桜が咲き乱れる
②馬越公園 TEL 0597-23-8261
世界遺産熊野古道馬越峠沿いにある公園。桜の名所として親しまれ、園内には民謡「尾鷲節」の中唄が記された歌碑があります。



尾鷲湾や島々をのぞむ景色も素晴らしい
③世界の椿園

さまざまな国から集められた 725 品種の椿と約 3,000 本のヤブツバキが楽しめます。冬から春にかけて見頃を迎えます。



④尾鷲観光物産協会

TEL 0597-23-8261
馬越峠の麓、中井町にある公式「尾鷲の観光総合案内所」。旅のことで困ったら、何でも気軽にお問い合わせください。



温暖多雨な気候と黒潮によって古くからその自然の恵みを受け、林業、漁業が栄えてきました。

特に豊富な雨にはぐくまれた「尾鷲ヒノキ」は、鮮やかな赤みと強靭な良質の材木として全国的にもその名を知られています。



体験



来館される方が、星や宇宙への親しみを感じ取り、学びあえる場

⑦尾鷲市立天文科学館 TEL 0597-23-0525
宇宙の美しさと神秘性を感じながら「夢と希望」を育む事をめざす、家族的な雰囲気の天文科学館。昼は太陽の黒点やプロミネンスなどの太陽表面が観望でき、夜間では口径81cmの反射望遠鏡で月・惑星・彗星・星団などの観望ができます。

熊野灘にやってくる異国船の発見を伝達するための場所

⑧木名峠狼煙場跡
江戸幕府により設置された狼煙場は熊野灘にやってくる異国船の発見を伝達するための場所です。海岸防備施設として重要な役目を果たしていました。「狼煙」とは、良質の煙を立てるために狼の糞を使ったことが由来です。

神社樹叢は三重県天然記念物
⑨飛鳥神社
1000 年以上の歴史を持ち、江戸時代までは「飛鳥大明神」と呼ばれていました。新宮阿須賀神社の末社で、境内には樹齢千年以上、高さ 30mにも及ぶオオクスの巨木があります。

聖観音と三十三体の観音石像が並ぶ
⑩岩屋堂石仏
馬越峠のある天狗倉山の尾鷲側中腹の山中には「岩屋堂」といわれる祠があります。本尊聖観音石像は、仏身36cm、蓮台12cm、向背6cmで計54cmの高さで、古い時代の要素をもつていますが、蓮台の蓮華に特徴があって、鎌倉末期の制作と推定されています。

体験



紀伊半島随一の白い砂浜、透き通った海水が自慢！

⑪三木里海岸 TEL 0597-23-8223
遠浅の約 1 km あまりの真っ白な砂浜の海水浴場。後ろには紀伊の吉宗公が植えさせたという松林が連なっています。



地域と一緒に町おこし
⑫おわせ海洋深層水モクモクしお学舎

TEL 0597-27-3030
廃校になった漁村の小学校で、尾鷲の海洋深層水を使って塩づくりをしています。塩と海の大切さが学べる「塩育」の施設であり、地場産品とのコラボ商品開発にも取り組んでいます。



にほんの里 100 選
漁村の原風景がここにあります

⑬須賀利町
なつかしい漁村。周囲をぐるりと山が取り囲み、深い藍色の海が須賀利町。瓦屋根の古い民家が、海から山にびっしり張り付く風景は壮観で昔ながらの漁村の姿が残ります。

ちょいメモ



約 400 前の大坂夏の陣で敗れた真田一族は現在の尾鷲市野地町に落ち延びたと言われており、尾鷲市には現在でも真田堤や真田井戸といった遺構が残されています。その当時の真田一族の悲しい気持ちを歌ったとされているのが尾鷲市の民謡「尾鷲節」の元唄とされています。

